

事項 ぶどう「スチューベン」の円筒形密着果房を生産するための果房整形法

ねらい ぶどう「スチューベン」では、300g程度の円筒形の密着した果房は商品性が高い上、選果や荷造り時の脱粒や軸折れが発生しにくい。このような果房を生産するための簡易な果房整形法が明らかになったので普及に移す。

指導奨励内容

1 果房整形は以下の方法で行う。

処理時期	処理方法
開花前頃(6月中旬)	岐肩を摘心時に摘除する(図の①)。
果粒が小豆粒大頃(7月上旬ころ)	果房の先端を1cm切除する(図の②)。 果房長が12~13cmになるように果房上部の枝梗を切除する(図の③)。 残した果房は幅が6cm程度になるよう切りつめる(図の④)。
小豆粒大以降	無核小粒果を摘粒する。

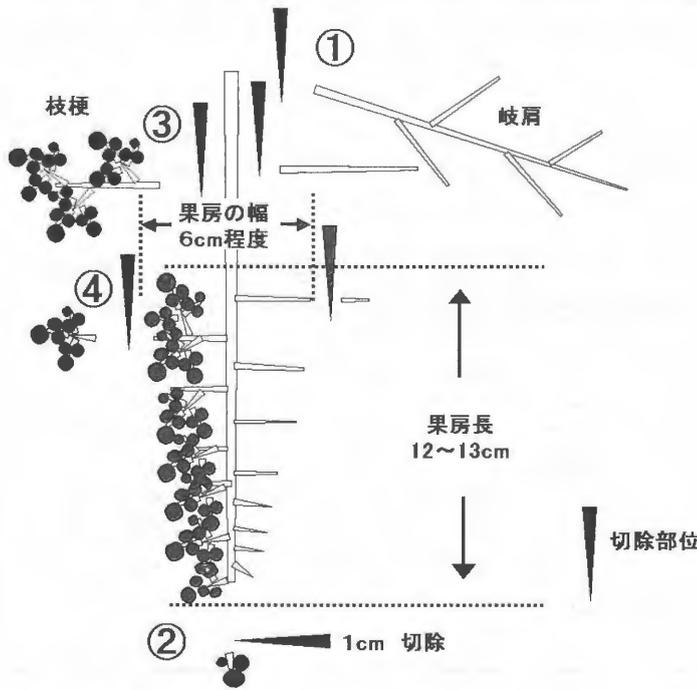


図 果房整形法



写真 型紙の使用法

2 下から1cmの位置に線を引いた縦13.5cm、横6cmの型紙を果房にあてがうと正確にできる(写真)。

期待される効果 商品性の高い300g程度の円筒形密着果房の生産が可能となる。

普及上の注意事項

担当 青森県農林総合研究センターりんご試験場県南果樹研究センター 対象地域 県下全域

平成16年度 研究成果情報(東北農業)

発表文献等 平成16年度 落葉果樹試験研究成績概要集(栽培・土壌肥料関係)

平成16年度 青森県農林総合研究センターりんご試験場試験成果・情報発表会資料

【根拠となった主要な試験結果】



写真1 果房形の評価  
(左：円筒形、中：中間、右：円錐形)



写真2 果粒の密着程度の評価  
(左：密着、中：中間、粗着)

表1 果房先端切り込み長及び残す果房長と収穫時の果房形質

(平成15年 青森農林総研りんご試県南果研セ)

区	果房整形法の違い		収穫時の果房形質														
	果房先端の 切り込み長 (cm)	残す果房長 (cm)	果房形			密着程度			果房重 (g)	果房長 (cm)	果房上部 の幅 (cm)	粒数	軸長 (cm)	着粒密度 (粒/cm)	枝梗数 (本)		
			指数 (1~3)	割合 (%)		指数 (1~3)	割合 (%)										
				円筒形	中間		円錐形	密着								中間	粗着
1	1	12	1.3	70	30	0	1.2	80	20	0	299	15.9	8.1	76	10.9	7.0	18.2
2	1	13	1.4	60	40	0	1.5	60	30	10	304	16.3	8.5	73	11.6	6.3	18.3
3	1	14	2.1	20	50	30	2.1	30	30	40	364	17.9	9.2	90	13.1	6.9	18.8
4	3	12	2.3	10	50	40	1.5	50	50	0	405	16.7	9.6	89	11.2	8.0	14.7
5	3	13	2.5	10	30	60	1.7	40	50	10	412	17.8	9.7	98	12.4	7.9	16.5
6	3	14	2.0	20	60	20	1.8	40	40	20	422	18.5	9.8	101	13.7	7.4	17.9

- (注) 1 対象果房：第1果房  
 2 果房形指数：1…円筒形、2…中間、3…円錐形  
 3 密着程度指数：1…密着、2…中間、3…粗着

表2 果房整形法の現地実証

(平成16年 青森農林総研りんご試県南果研セ)

調査地	対象果房	整形前		収穫時の果房形質														
		果房長 (cm)	果房上部 の幅 (cm)	果房形指数 (1~3)	割合 (%)			密着程度 (1~3)	割合 (%)			果房重 (g)	果房長 (cm)	果房上部 の幅 (cm)	粒数	軸長 (cm)	着粒密度	枝梗数
					円筒形	中間	円錐形		密着	中間	粗着							
A	第1果房	13.1	6.9	1.4	60	40	0	1.1	90	10	0	293	16.0	8.6	82	10.3	8.0	17.0
	第2果房	13.8	6.2	1.2	78	22	0	1.1	89	11	0	273	15.8	8.1	82	10.8	7.7	16.1
B	第1果房	16.1	9.8	1.7	33	67	0	2.2	0	83	17	288	16.6	9.4	75	11.6	6.4	17.0
	第2果房	13.5	6.7	1.1	86	14	0	1.9	14	86	0	257	15.9	8.3	70	10.7	6.6	14.7
有意性	調査地	ns	ns	-	-	-	-	-	-	-	-	ns	ns	ns	ns	ns	ns	ns
	対象果房	ns	ns	-	-	-	-	-	-	-	-	ns	ns	ns	ns	ns	ns	ns

- (注) 1 果房整形は指導参考内容に示した方法に準じ、調査地の園主が型紙を使用して行った。  
 2 調査地：調査地A；結果枝の揃いが良い園地。調査地B；結果枝の揃いが劣る園地。  
 3 果房形指数、密着程度指数：表1に準じる。